

営農だより

畦畔除草を
徹底しよう!!

6・7月のポイント～10の推進技術・6つの1ヶ月対策～（営農ブックP15、16参照）

- 中干しの期間は1ヶ月 ●中干し後から出穂までの約1ヶ月は飽水管理
- 畦畔・農道等は7月上旬までに追加除草

ゆめみづほの出穂時期は平年並となる予想です

中干し開始までの初期生育は概ね順調です。今後も生育に応じた水管理を行いましょう。

生育調査結果(コシヒカリ)

	6月9日現在	前年度
草丈 (cm)	31.5	31.7
莖数 (本/株)	15.6	12.4

※市内20箇所の観測田データの平均値

中干し期間は
 ゆめみづほ 6月25日
 コシヒカリ 6月末
 ひやくまん穀 7月5日
 頃まで実施しましょう!



出穂予想(6月12日現在)

	令和7年度	参 考	
		令和6年度	平 年
ゆめみづほ	7月15日～17日	7月13日～15日	7月16日
コシヒカリ	7月25日～27日	7月23日～26日	7月26日
ひやくまん穀	8月2日～4日	8月2日～4日	8月3日

※今後の天候次第で変動することがあります。

早生の穂肥施用 (10a当り)

※基肥一発肥料田で莖数が少ない場合：分施の1回目と2回目の中間の時期に窒素成分で1kg/10a以内で追肥する。

品種名	区 分	分 施		穂肥一発肥料
		1回目	2回目	
ゆめみづほ 出穂予想 7月15～17日	施用時期	6/22～6/25 出穂23日前	7/5～7/7 出穂10日前	6/22～6/25 出穂23日前
	1回目の施用基準	幼穂長:1.5mm 葉色:4.0	—	幼穂長:1.5mm 葉色:4.0
	一般米	優米味(ゆめみ) R (16-5-10) 15～17kg	優米味(ゆめみ) R (16-5-10) 15kg	有機入 いしかわ穂肥一発055 (20-5-15) 20～25kg
	加工用米等	化成肥料 14-14-14 (14-14-14) 20kg	化成肥料 14-14-14 (14-14-14) 20kg	

穂肥施用時
の注意事項

- 圃場によって生育の差があるので **幼穂長(1.5mm)** を必ず確認してから施用すること。
- 地力の高い圃場や転作後の圃場では施用量をやや少なくすること。

生産履歴記録簿を記帳しましょう！

カメムシの被害粒防止は「畦畔除草」+「本田の一斉防除」

■早生の上乗せ追肥（一発体系）

～上乗せ追肥の実施について～

高温登熟が予想される場合、基肥一発肥料を使用した圃場でも、上乗せ追肥を実施することにより後期栄養凋落を防止し、品質・食味を維持しつつ増収が期待できます。

※穂肥分を増量した基肥一発肥料（早生一発くんNEO・早生一発くんDX28）は上乗せ追肥は原則不要です。

基肥一発肥料	上乗せ追肥（追加穂肥）		
肥料名（成分N-P-K）	肥料名（成分N-P-K）	施肥量（10a）	窒素（N）量
BB早生一発くんDX28（28-13-9）	優米味R （16-5-10）	原則不要	—
BB早生一発くんNEO（28-7-9）		原則不要	—
BB新早生一発くん（24-15-8）		7kg	1kg

※出穂7日前（7月8日～10日頃）までに施用してください。

■病害虫の適期防除をしましょう！（随時防除）

病 害 名	薬 剤 名	散布量（10a）	使用時期	注 意 事 項
稲こうじ病	Zボルドー粉剤DL	3～4kg	出穂10日前まで	常発田で散布
いもち病	ブラシン粉剤DL	3～4kg	収穫7日前まで	2回以内。但しノンブラストレバリダ粉剤使用時は1回
紋枯病	バリダシン粉剤DL	3～4kg	収穫14日前まで	株元に薬剤が十分に届くように散布
イネアオムシ（フタオビコヤガ）	トレボン粉剤DL	3kg	収穫7日前まで	発生時に散布
カメムシ類	スタークル豆つぶ	250g	収穫7日前まで	カメムシ多発圃場にシャクで投げ込み散布 湛水散布

青田講習会の開催

稲作部会協議会主催で下記のとおり講習会を開催します。講習会では、水稻圃場農業情報提供サービス「アグリルック」を利用した生育予測等も行う予定です。どなたでも参加可能です。ぜひご参加ください！！

日 時 令和7年7月8日（火）
午後1時30分より

場 所 JA加賀やすらぎ会館前圃場

内 容 ①出穂期の予測について
②今後の水管理について
③その他

